

公民館だより

ひがしの

No. 18号

57、10、1



“向い山”から見た東野

東野公民館開館五周年記念 文化祭開催

昭和五十三年四月地域住民待

― 実施要領 ―

望の公民館が地区公民館として

とき 昭和57年11月3日(祭日)

再出発し五周年を迎えました。

4日(木)

その間、講座生は延べ七二〇

午前10時～午後7時

名が修了され、今、日常の生活

ところ 東野公民館 全館

の中で活かされております。

主催 東野公民館五週年記念

公民館は生涯教育の拠点とし

文化祭実行委員会

又、地域の茶の間として重要な

後援 恵那市教育委員会

役割を果していると思われま

展示品 東野公民館講座作品

そこで今回、その記念行事と

(いけ花、盆栽、編物)

して記念文化祭を開催すること

書、画、陶芸品、工芸品

になりました。

東野地内工業生産品

公民館講座作品はもとより、

併催 書、画、相談コーナー

東野の各家に秘蔵される貴い、

俳句会、11月4日

「書」「画」「工芸品」等を借

午後1時

り受け、展覧し、広く地域文化

当季、雑詠、七句

の向上に寄与する機会を得たい

開基大会、11月3日

と思います。

午後1時

日々煩雑の生活の中にも日常

申込10月31日まで

の生活に潤いを満たすべく、皆

東野公民館

様方のご参加、ご出品とご観覧

その他、盆栽、の即売

をお願い申し上げます。

11月3日のみ

共存の原理と

公民館

鈴木弘道

私達の住んでいる恵那市・東野という地域社会で、東野公民館はどんな役割を果しているのだろうか。……今度東野公民館創立五週年の記念事業にからんで、こんな疑問がふと頭に浮んだ。東野公民館長から、過去五年にわたる利用者数や、諸種の利用状況のグラフを見せて貰った。かなり効果的に活用しておられるようで、御同慶に堪えない。

さて、公民館は、日本全国津々浦々、漏れなくといっていい位、学校とならんで建っている。ない方が珍らしい位であるが、その公民館は地域の住民の生活上につなげる情報センターとして又智的散策の場としての二つの顔を持っているのである。それに私は、その地域の歴史を知るための又保存するための博物館、資料館であって欲しいと思う。

さて東野公民館は、五十萬人都市市民の持つような立派な公民館である。こんな立派な公民館をどうして持ち得たのか。

結論をさきに言へば、私達の先祖は、勤勉で自然を愛した人達であつたことで持ち得たのである。

私の子供の頃、東野村民は、自分たちの生命を守り、少しでも暮しを豊かにしていこうとするその姿勢は、常に土地に結びついていた。土地をはなれて村民はない。だから村民の努力は土地をよくすることに向けられた。土地の生産力をあげることに向けられたそのことが何より「村」を良くすることであつた。

それだけではなかつた。当時少い情報を、とらえさまざまな生業を工夫して、暮しを豊かにし、いろいろな制度や施設を改良して、村を住み易いものにして行かんとする努力は、休みなく続けられ、品種の改良、新し

い作物の導人などについて、私達の先祖は、きわめて自発的積極的であつた。

東野の土地、山林は、人間の情に訴えるやさしい美しさがある。どの山林に入っても、人が作つた径があり、人の歩るいた跡がある。大木を見ても、どの時代のどれかと何か特別の係り合いを持った様子が感じられ、どことなく人間のおいがする。

東野の土地、山林の中につぎこまれた先祖の汗と智識と情の量は測り知れない。そんな東野に今から百年前明治初期、植林と養蚕が伝わり、東野住民はこれをよく消化し発展せしめて、近所の村人達を驚かした。

従来の農作物ならば、いかにすれば、沢山とれるかに専念すればよかった。植林、養蚕の場合には、それに加えていかに有利に販売するかという技術が、大きな意味を持つてくる。農業に経営という感覚を持ち込み普

及させるのに、植林、養蚕は役立った。

戦後の農地改革は、小作物を解放することによって、耕作者である農民の経済的基盤を高めると同時に、生産意欲を持たせることに役立った。やがて新しい技術の導入、新耕作機械の開発によって、今や三チャン農業は、休日農業となつてしまった。

然し地域社会の「村」東野は、なくなつてしまつた沢ではない。そこで必要なのは「情報」であり、情報センターの出番となる。一世紀前にくらべてたしかに社会全体の中を流れている「情報」は、飛躍的にふえている。生活全体の都市化、有機化、広域化が高度に進行している為に、正しい「情報」が掴み難いので、地域住民にまず情報の考え方、解き方を、教えて行くべきではないだろうか。制限の紙数をこえてしまつた。結論は愛され、尊敬され、慕われる公民館であつて欲しいのである。

岡本光美氏

薬学博士に

東野五八七の一(下沢)

昭和21年7月12日生

岡本氏は名古屋市立大学大学院薬学研究科修士課程を修了し、岐阜県衛生研究所に勤務しつつ、研究を続けられ、今年三月、「高速液体クロマトグラフィーによる微量有害物質の測定に関する研究」により薬学博士の学位を取得されました。その間、昨年六月には日本薬学会東海支部学術奨励賞を同タイトルで受賞されております。

又、今年九月には科学技術庁国際派遣研究員としてロンドンでの第14回国際クロマトグラフィーシンポジウムで発表され注目を集めております。

学位を与えられた「高速液体クロマトグラフィーによる微量有害物質の測定に関する研究」とは、社会問題となっている化学物質による健康被害を県

念して、癌原性が確認された物質、癌原性のおそれのある物質を中心に、この様な有害物質に選択的に作用する高速クロマトグラフィー用充填剤を調整し、その充填剤の化学結合様式の一部の充満、ならびに結合鎖の効果を検討、またラベル化法による分析方法の確立、ルーチン分析への応用、ならびに薄層クロマトグラフィーへの応用についても併せて研究されたものである。

第8回住民体育祭

10月31日

皆んなで 楽しく

参加しよう。

福祉だより

社会福祉は近年、老人、児童、身障者など社会的に弱い立場の

人達に対する年金、医療、援護施設等非常に充実してきましたが高令化核家族化社会への移行地域連帯意識の希薄化など物質面と共に精神面での福祉の一層の充実が時代の要求となっております。

市社会福祉協議会東野支部がモデル支部の指定をうけましたので住民参加により地域ぐるみでしあわせで明るい福祉のまちづくりに取りくむため次の様な事業計画がきまりました。

一、小学生から、ねたきり老人高令者への見舞のたよりをおくること。

一、老人クラブと子供会のリンクレーション会をもつこと。

一、福祉に関する標語を募集して福祉のまちづくりを宣言すると共に福祉に対する認識を深めるために標語看板塔を設置すること。

福祉標語募集

社会福祉モデル支部の指定をうけて、しあわせで明るいまちづくりのために住民のみなさんから福祉標語を募集します。

・応募期間

十月末日まで

・応募先

東野公民館内

市社会福祉協議会

東野支部

なを標語入選者には記念品を贈呈します。

奮って応募下さい。

恵那市福祉標語入選作から：

・福祉の輪広げて

明るい町づくり

団体だより

婦人会



交通安全協会

東野支部

婦人会では、毎年の事業の中でアルミ缶回収を行っております。

一、環境美化のため、二、不燃物収集を少くする。三、販売金を会費の一部とする、この三つの目的です。

支部長さんに御苦労をかけて公民館横へ集めて頂きました。

集めてみてジュースの缶の種類の多いのに驚きました、アルミによく似たスチール缶もあります。

この中からアルミ缶のみ選らなければなりません。やっと選り終え、業者に引き取りに来てもらいましたが翌日、四分の一くらい残っており、電話すると「半日かゝってアルミ缶だけ選って来た、こんなに混っておるのはお前さん所だけや」と怒鳴られ私はアルミ缶恐怖症になりました。

婦人会長 伊藤道子

光岡商店前に信号機が設置されました。

東野地区は四月より国道二五七号線の迂回路となり車輛通行は増大の一方です。特に県道阿木線では朝夕の通勤時には、今までの三、四倍量です。同時間帯に登下校する児童達には危険がいっぱいで非常に心配される

ところですが此の度横断者の最も多い南中切の光岡商店前に信号機が設置されました。

通学園児の安全を守るためにも従来から望まれていましたが今年関係各位並びに地もとの方々の絶大なご支援とご協力により実現したものであります。悲惨な事故から身を守るためにも皆さんの正しい活用をお願いいたします。

支部長 光岡義雄



ゲートボールの練習

東野老人クラブ

クラブは昭和三十八年十月に設立された、そして第一東雲、第二東雲の二つのクラブができ昭和四十一年には一単位五十人以上とするよう指導があり、第一東雲、第二東雲、第三東雲、第四東雲の四つのクラブが単位クラブとして活動し、更に東野の連合会としても活動を進めております。

このクラブの主要目的は相互の親交を密にし、修養と娯楽を共にし、健康と幸福を願い、相互の親睦を深めるための慰安旅行、健康保持のためのゲートボール等を行っております。

理事 河村千十美

子供会

○恵那市子供会リーダー研修会
七月二十七日、二十八日に土岐自然の家で行われ東野からは十四名参加しました。

始めは不安でたまらなかったが、だんだん話ができ、リーダーがよくリードしてくれたので「俺達のために、やらなければいけない……」

○夏休み子供大会
反省文より

八月五日、小学校体育館で行われ、子供百七十名、大人二十名参加した。

駒沢大学生の人形劇、民話劇を楽しく熱心に観賞する。

劇の中で「ありがとう」の大切さを学びました。

○恵那市子供会ソフトボール
九月五日、恵那西中で行われブロック（四ブロック）優勝した。

子供会指導者 伊藤善尚

地区内の「おもな行事」

天王前不燃物
収集所完成

以前より地元利用者より要望のありました、不燃物置場がこのほど完成致しました。

これは関係者において用地の承諾を得、建設費は全額市において建設したものです。今後は収集日の二日前に自治会長さんにより門戸が開られます。その日に合わせて出荷して下さい。



完成した収集所



工事中の屋下地区

団体営は場整備 東野工区事業進む

団体営上正家は場整備事業は昭和五十五年より東野工区で事業が始まり、下沢地区に続いて、五十六年度より屋下地区で事業が進められております。

本年度で面工事部分は、ほぼ完了し残るは換地事業と一部の雑工事のみとなります。

すでに五十五、五十六年度において事業の完成した田には仮換地利用として水稻、転作に利用されております。

8 / 16
・
8 / 17
豪雨

八月十六日夜から十七日にかけてこの地方に大雨がありました。これは昭和五十一年の集中豪雨以来であります。東野でも農地、農用施設、道路等に被害が出、又、床下浸水の家屋もありました。大雨が予想されるときは前もって水路、水田の水を切っておく心がけが必要と思われます。

阿木・大井線に 信号機完成

県道阿木・大井線光岡商店前に信号機が設置されました。交通量の増加に伴い、通勤、通学による横断の最も多いこの位置に設置されたものです。この信号は手押しボタンの操作により通行を表示するものです。

敬老会

九月十五日の敬老の日、婦人会振興会の主催で地区の敬老会が行われました。本年は明治七年九月十五日以前の生れた方々男四六名、女五一名が対象でした。出席は六十名でしたがアトラクションに公民館講座の方々の歌、踊りなどもあり、楽しいひとときを過ごされました。

東野村青年会館 模型を公民館に

東野村青年会館(旧公民館)の模型を篠原三千郎氏ご子息進氏に贈呈したところ、ご親族で相談され再び公民館にご寄附頂くことになりました。これからも公民館を訪ずれる方々はこの模型を見ながら当時の氏の建設趣意を思い出し感謝の意を捧げることを思います。

交通少年団

県大会で健闘

自転車乗りの技術と知識を競う交通少年団は夏休み中の練習成果により恵那市大会での優勝に続き、東濃の代表として県大会に出場し選手はよくがんばりました、又、指導に当られた安全協会の方々、ごろうさまでした。

尚、選手の皆さんは、

六年依馬博文 六年市川直樹

六年渡辺信彦 六年西尾美穂

五年加藤浩恭 五年西尾安正

でした。



健闘中の交通少年団



査閲を受ける消防団員

消防団

市長査閲優勝

恒例の消防団市長査閲が九月五日行われました。

本年は例年の通常点検等に加え「幼稚園より出火」という想定によって実際に放水し、団員の皆さんは水びたしになりながらもよく奮闘し、一昨年に続いて三回目の優勝となりました。

ゲートボール

老人クラブ

ゲートボール

東濃大会へ

七月二十三日行われた第一回東濃地区ゲートボール大会、恵那市予選で見事優勝し、九月十一日、明世温泉で行われた東濃大会に出場しました。入賞はできませんでしたがよく健闘しました。

監督 伊藤正三 選手五名

納涼盆踊り 八月十日

今年の盆踊りは、民謡、民謡講座、各種団体による実行委員会が主催し、カラオケ、盆踊りなど内容に工夫を加えて行われた。

全国的ブームのカラオケには十余名が出場し、自慢のノドを披露し、大賞、ハッスル賞なども与えられ夏の夜のひとときを楽しく過しました。

子供会

ソフトボール大会優勝

夏休みも終わった九月五日、西中学校に市内の子供会三十四チームが参加し行われました。東野子供会はAブロックに入り三戦三勝でAブロックでの優勝を上げました。

四年生が

公民館見学

九月十四日東野小学校四年生の皆さんが東野公民館の見学に来てくれました。これは社会科の「くらしをよくする」の単元の勉強のためでした。

公民館は地域の人にどのよう利用されているか、どんな役割をするか、など質問し、公民館講座のこと、年間の利用者数建設費などについて熱心に勉強して帰りました。



生涯スポーツ構想

人間の生長段階には幼児期に始まり、児童期、青少年期、成年期、壮年期、老年期とあり、それぞれの段階により、心、体は発達、変化します。従ってその課程により指導も異なってきます。

現在、全般的に、◇家族、地域社会の変化、◇身体活動の減少、余暇時間の拡大　が見受けられます。地域にはスポーツ少年団、子供会、体育協会、老人クラブ等の場があります。

この中でなかまづくり、自立心、充実感、生きがい等を求めて身近なスポーツを選び親しましましょう。我々体育指導員はそんな皆さんに正しいスポーツを指導し、お手伝いする機関であります。

体育指導員

光岡隆志

体育祭は10月31日

恒例になりました体育祭は次の要領により行われます。

実施要領

一、名称

第八回東野体育祭

一、とき

昭和57年10月31日

(日曜日)

雨天11月3日

一、ところ 東野小学校グラウンド

一、主催 東野自治連合会

一、協賛 東野体育協会

東野振興会

一、後援 恵那市教育委員会

一、競技方法

紅(上組) 白(下組)

とする。

種目等細部については自治会長さんを通し配布し、出場者の選考等協議されると思いますが、それぞれ体力に見合った種目に気楽に出場し、楽しい体育祭にしましょう。

公民館教養講座

21期募集

20期講座も9月をもって終了致しました。

引き続き11月より21期が始まります、多くの方が受講され日常生活の糧として頂きたいと思ひます。

申込みは裏面の申込書により申込んで下さい。

又、講座とは別に老人クラブの方々にお願ひしての「郷土の伝説、歴史を話し合う会」の希望などもあります。同好者は公民館にご連絡下さい。

図書講入

生涯教育事典

現代教養講座全十巻

愛深き淵より

巨いなる企て(上、下)

土光さん、やろう

かざりなき日々に

乳房よ土に哭け

いのち生れしとき

事務局
雑感



昭和四十七年十一月の第一号発行以来今回十八号を数えますその間タブロイド版で親しまれてまいりましたが、今回、掲載文数の都合もあり二つ折と致しました。

又、内容もできる限り広く取り上げてみました。編集にあたっては公民館報としての使命を重んじつつも準「村報」的になったきらいもあります。次号は来四月を予定致しております。ご意見、提言などをお寄せ下さい。

七月一日付異動

お世話になりました。

前公民館長 西尾恒明

どうぞよろしく

新公民館長 千藤恵三

第21期東野公民館

定期教養講座生募集

▷ 募 集 要 項

1. 開 設 間 昭和57年11月～昭和58年3月（毎月2回）
2. 受 講 科 1科目 1,300円 申込みと同時に納入して下さい。
3. 申 込 期 日 10月27日
4. 開 設 時 間 午後7時30分～9時30分
（但し講座により話し合いできめる）
5. そ の 他
※ 講座により資料代・材料代は実費をいただきます。
※ 希望者が少ない場合は中止することがあります。

講 座 名	講 師	目 標	持 参 品	開 催 予 定 日
編 物	坪井弥栄子	子供からお年寄りまで家族で利用できる手造りの暖かさを	かぎ針・棒針・筆記用具	第2・第4金曜日
花 道	林 俊幸	日常生活に活用できる生花作法の習得	ハサミ・剣山 ヤゲン・花器	第2・第4木曜日
民 謡	押村多歌寿	全国の有名な民謡をおぼえ、日本のふるさとをたずねる。	筆 記 用 具	第1・第3火曜日
民 踊	小森 さつ	楽しい民踊をおぼえ、明るい家庭と健康づくりに役立たせる。	手 ぬ ぐ い	第1・第3火曜日
庭木盆栽	粥川 一利	樹木を通じて自然の心をたずね、余暇を楽しむ。	筆 記 用 具	第2・第4金曜日
大 正 琴	山本まつの	日常生活のメロデーを、誰でも引けるように。初歩から楽しく	大正琴、譜面台あつせんず	第2・第4火曜日

-----きりとせん-----

受 講 申 込 書

私は、東野公民館定期講座を受講したいので、受講料1,300円を添えて申込ます。

氏 名

㊞

住 所	恵那市東野	電 話	
自 治 会 名		生年月日	年 月 日
受講希望科目		性 別	男 女
勤 務 先		電 話	